

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 29 日

評価対象事業	評価者	市民安全課長 片瀬 由久
防安－09 安全・安心まちづくり推進事業	☐ 自治事務	主管課 市民安全課
	☐ 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全
	施策の方針	防犯活動の充実・強化

1 事業の目的

対象	市民等
意図	防犯意識の普及・啓発及び防犯活動への支援などを行い、犯罪被害を抑止し、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため。
効果	防犯意識が向上することにより、地域ぐるみの防犯活動が推進され、犯罪の抑止及び減少効果が得られ、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に寄与する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

- ・市民・関係団体及び警察と連携強化を図りつつ、防犯体制等の整備を進めた。
- ・防犯に関する普及・啓発のため、身近な犯罪情報などの提供を行った。
- ・ESCO事業により、防犯灯のLED化を図った。
- ・市内各地域、子ども関連施設等の巡回パトロールを実施し、地域防犯活動を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数	177,464人	177,243人	事業の対象者数	176,869人	
決算値(千円)	109,185	104,587	当初予算(千円)	91,669	
国県支出金			国県支出金		
地方債			地方債		
その他			その他		
一般財源	109,185	104,587	一般財源	91,669	
人員配置数	2.5	3.5	人員配置数	2.5	
人件費(千円)	18,989	27,389	人件費(千円)	19,410	
総事業費(千円)	128,174	131,976	総事業費(千円)	111,079	
市民1人当りの経費(円)	722	745	市民1人当りの経費(円)	628	
対象者1人当りの経費(円)	722	745	対象者1人当りの経費(円)	628	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 防犯団体
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☒ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 平成27年度は防犯灯管理団体への補助金に加え、防犯灯LED化事業を実施したため、一時的に予算規模が増加したが、平成28年度以降は、防犯灯LED化を実施したため、ESCO事業者への防犯灯維持管理委託料、電気料は発生するが、防犯灯補助金が大幅に減少するため予算規模が縮小する見込み。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	予算規模の縮小を図りながら、より効果的な事業の推進を図る。その他、「自らの安全は自らが守る。」「地域の安全は地域で守る。」の意識の高揚を図るための防犯教室等の開催及び周知に努めた。また、警察・教育委員会等と情報の連携・共有化により、市民への迅速な情報提供に努めた。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	防犯灯一斉LED化にあたり、工事施工等に対する市民要望及び苦情対応	
課題解決のために行った平成27年度の取組	防犯灯LED化への市民要望及び苦情に対して迅速な対応を図った。	☒ 解決 ☐ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	防犯アドバイザー3名に対し、青色回転灯付自動車が2台で効果的な地域巡回等が実施できない。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	刑法犯認知件数(上段:件数、下段:人口1,000人あたりの認知件数)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	厚木市	逗子市	三浦市
他市実績	752	3,014	1,555	2,412	1,536	2,532	2,199	361	252
	4.36	7.10	6.49	9.34	7.92	6.24	9.75	6.39	5.58
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	安全・安心まちづくり推進事業における人口1,000人あたりの刑法犯認知件数は、犯罪の抑止と直接関連する数値であり、当該数値を下げることで、事業の結果になると考える。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	人口1,000人あたりの刑法犯認知件数					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値	5.0	4.9	4.8	4.7	4.6		4.5		
	実績値	5.3	4.4							
	達成率	106.0%	89.0%							
指標の内容	自治・町内会数に対する自主防犯団体組織率					単位	%	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値	147.0	147.0	147.0	147.0	147.0		147.0		
	実績値	129.0	129.0							
	達成率	87.8%	87.8%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	・安全・安心まちづくり推進事業における人口1,000人あたりの刑法犯認知件数は、犯罪の抑止と直接関連する数値であり、当該数値を下げることで、事業の結果になると考える。 ・自主防犯団体の組織率については、「自らの安全は自らが守る。」「地域の安全は地域で守る。」意識の高揚を図る結果になると考える。									

● 事業に関する特記事項

■ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	■ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---------------------	--------------------------